

# 平成 28 年度研究プロジェクト研究活動報告

|       |                                                    |           |
|-------|----------------------------------------------------|-----------|
| 研究種別  | ■ 自主研究 10                                          | 公益目的事業 17 |
| 主査名   | 石田信博・同志社大商学部 教授 松澤俊雄・大阪市立大学 名誉教授                   |           |
| 研究テーマ | 地域・都市総合交通政策の研究－都市圏構造の変化と交通の運営・社会資本整備のあり方についての研究－※※ |           |

**研究の目的：**

地域・都市構造の分析と、交通部門における輸送・インフラ整備における対応と公的政策のあり方の分析を通じて、地域・都市交通における総合的交通政策の研究を進めることで成果を発表してきた。本プロジェクトではこれまでも、この効率的・公平なモビリティを意識としてもちつつ理論的・実証的研究を進めてきた。最近の公的調査結果をもちいてた分析がかなり示されるようになり、研究メンバーの多くが居住する京阪神地域は、人口ならびに経済活動面で停滞傾向にあるだけでなく、高齢者・生活弱者の増加もより顕著にみられ、公的主体・輸送事業者ともに厳しい財政・財務的制約の下で、効率的・公平なモビリティを形成し、地域の活性化に資する交通全体の運営・整備上の課題と方向性について調査・研究を進めている。

**研究の経過（4月～9月）：**

上半期においては、これまで形成したデータベースを活用しつつ、社会経済的構造の変化の中でとくに自動車利用の実態と性質の把握（再把握）をおこなうとともに、トリップ性向や費消時間などについての研究も進めている。全体研究会はあまり活発ではないが、「道の駅の経営向上に関するモデル－民間資金など活用事業」「地域間格差と経済的諸変数に関する誤差修正モデル」「道路利用にみられる時間的平準化の動向と効率性－モータリゼーションの深化」等のテーマで行ってきた。また、文献研究会では、「運賃、トリップ長と運輸市場での競争」、2回にわたり「地域・都市公共交通における運賃統合の厚生効果」等の論文での紹介があった。また数人のメンバーでの部会では、現実的な都市交通分析や路面公共交通の勉強会を行なうとともに、上記のテーマでのデータベース形成も着々と進めている。

**下期へ向けて（課題等）：**

下半期では、上半期では十分ではなかった課題としての、総合交通政策に関する欧米の中－大都市のシミュレーションモデル等の文献研究をより密に開催して理解を深めたい。また、相互依存的關係のなかで均衡を保つ鉄道利用と自動車利用の状態を質的・計量的に把握して効果的インフラ整備についての方向性についての研究を進めるとともに、都市物流の効率化、都市交通と都心の活性化についての研究も進めたい。

**研究メンバー（敬称略）：**

石田信博（主査・同志社大学）松澤俊雄（主査・大阪市立大学名誉教授）秋山孝正（関西大学）竹内健蔵（東京女子大学）徳岡一幸（同志社大学）山田浩之（京都大学名誉教授）青木真美（同志社大学）岡野英伸（近畿大学）小川雅司（羽衣国際大学）大井尚司（大分大学）加藤一誠（慶應義塾大学）毛海千佳子（近畿大学）後藤孝夫（近畿大学）兒山真也（兵庫県立大学）斎藤峻彦（近畿大学名誉教授）坂西明子（奈良県立大学）正司健一（神戸大学）須田昌弥（青山学院大学）高橋愛典（近畿大学）鶴指眞志（長崎県立大学）鶴指眞司（長崎県立大学）手塚広一郎（日本大学）中村徹（大阪産業大学）新納克廣（奈良県立大学）松本秀暢（神戸大学）水谷淳（大阪商業大学）水谷文俊（神戸大学大学）山根智仁（大阪商業大学）